

日・南ア交流 100 周年について



1. 日・南ア交流 100 周年とは？

今から 100 年前の 1910 年、日本政府は南アフリカにおいて日本及び日本人の地位を確保するとともに、対南ア貿易の促進を図るべく、ケープタウン在住のジュリアス・オットー・ジェッペ氏 (Mr. Jullius Otto Jeppe) を日本国名誉領事に任命しました。

ジェッペ氏は主に貿易・海運事業を行う南ア在住のドイツ系英国人で、1910 年から 1918 年までの間、ケープタウンのショートマーケット・ストリートに所在する事務所において日本国名誉領事を務めました。

また、同氏は、南アと日本の貿易拡大・友好関係増進に貢献し、南ア産の羊毛の対日輸出の先駆けとなった他、ワインを極東に紹介したことで知られています。1916 年には大正天皇に拝謁し、金杯を受け取っています。

2010 年は、ジェッペ氏の日本国名誉領事任命から 100 年目の年となり、日本と南アは記念すべき公的交流 100 周年を迎えます。



ジェッペ名誉領事

2. 日本と南ア 100 年の歴史

日本政府は、ジェッペ氏を名誉領事に任命後、1918 年にアフリカ大陸初の日本の公館となる在ケープタウン領事館を設置しました。1916 年には日本人の南米移民船東海岸航路 (インド洋を下ってケープタウンで寄港し、大西洋へ出る航路) が定期便となり、1926 年には神戸～ダーバン間に定期航路が開設されました。

南米への日本移民船が長い航海の途次ケープタウンに立ち寄る際には、移民者のために数日間の上陸が認められるなどの便宜が図られ、1932 年、日本政府はケープタウン市への感謝の印として、日本の石灯籠を贈呈しました。同石灯籠は市の中心部に位置する南アフリカの最古の庭園「カンパニーズ・ガーデン」(南ア議会に隣接) に建立され現在に至っています。



ケープタウンの石灯籠

1937年にプレトリアに公使館が設置された後、1942年には第二次大戦により外交関係が断絶しましたが、戦後、領事関係のみが再開され、1952年に在プレトリア総領事館、1964年に在ケープトウン出張駐在官事務所が設置されました。その後、アパルトヘイト制度を克服する民主化の進展を踏まえ、1992年1月に外交関係が再開され、同年2月にプレトリアに在南アフリカ大使館が開設されました。

1994年以降、日本からは森喜朗総理、小泉純一郎総理、川口順子外務大臣等が南アを訪問し、2010年5月には岡田外務大臣が日・南アパートナーシップ・フォーラム出席のため訪問しました。南アからはマンデラ大統領、ムベキ大統領、ムランボ＝ヌクカ副大統領等が訪日しています。また、1997年から計340名以上の南ア人がJETプログラムを通じて外国語指導助手（ALT）として日本の中学・高校に派遣され、2010年7月末には新たに36名の若者が英語指導のため訪日しました。

2009年には、日本は南アにとって第3位の輸出相手国となり、輸入では第4位の相手国となっています。両国政府は、日・南アパートナーシップを戦略的協力関係に発展させることを合意しています。



岡田外務大臣とマシャバネ国際関係協力大臣
(2010年4月30日)



JETプログラム
壮行レセプション

3. 日・南ア交流100周年行事スケジュール

日本と南アの公的交流100周年目にあたり、南アフリカ・サッカー・ワールドカップが開催された2010年は、両国国民が相手国に対する関心を飛躍的に向上させ、相互理解を深める絶好の機会であると考えています。地理的に遠く離れた日本と南アフリカですが、その距離を文化を通じて少しでも近づけることができたらの思いから、大使館では様々な文化事業を実施しています。

1) 日・南ア交流年プラーク除幕セレモニー（実施済み）

- (1) 時期：2009年12月1日
- (2) 場所：ジュリアス・ジェッペ名誉領事事務所跡地（プラーク除幕式）
南ア議会隣接庭園（石灯籠プラーク除幕式）
- (3) 内容：100周年事業の開始を記念して、プラト・ケープトウン市長、ジュリアス・

ジェッペ名誉領事の曾孫であるブレーシャー女史、マスメディア等を招き、ジェッペ名誉領事事務所跡地及び南ア議会に隣接する庭園に設置された石灯籠へ記念プラークを設置し除幕セレモニーを実施しました。この石灯籠は、南米への日本移民船が長い航海の途次ケープタウンに立ち寄る際に、移民者のために数日間の上陸が認められるなどの便宜が図られ、1932年日本政府がケープタウン市への感謝の印として贈呈したものです。



石灯籠への百周年記念プラーク



ジェッペ名誉領事跡地での除幕式

2) 日本映画祭（実施済み）※国際交流基金主催事業

- (1) 時期：2月26日～28日 プレトリア・ブルックリンモール
 3月6日～7日 ダーバン・ゲートウェイ・モール
 3月13日～14日 ケープタウン・V&Aモール
 3月18日～21日 ヨハネスブルグ・ローズバンク・モール
- (2) 内容：プレトリア、ダーバン、ケープタウン及びヨハネスブルグの南ア主要4都市において日本映画祭を開催しました。上映作品は「命」、「二人日和」、「浮草」、「菊次郎の夏」、「リンダリンダリンダ」及び「温泉卓球」の6本。ハウテン州文化芸術大臣、ダーバン副市長、映画関係者をはじめ、計2400名の観客が劇場を訪れました。



オープニングレセプションでスピーチをするハウテン州文化芸術大臣



映画「命」

3) 平間充子聖徳大学講師による日本の伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎）と歴史に関するビデオレクチャー（実施済み）※国際交流基金助成事業

- (1) 時期：2月24日 プレトリア大学
2月26日 ケープタウン・ステレンボッシュ大学
3月1日 グラハムスタウン・ローズ大学
3月4日 ダーバン・クワズルナタール大学
- (2) 内容：聖徳大学の平間講師を招き、南ア国内の4つの大学で、雅楽、能楽、文楽及び歌舞伎に関するDVD映像を用いて日本伝統芸能紹介レクチャーを実施し、計約800名の学生等が参加しました。



レクチャーの様子（ダーバン・クワズルナタール大学）

4) 小川典子氏（ソロピアニスト）、篠崎靖男氏（指揮者）とヨハネスブルグ・フィルハーモニー・オーケストラのクラシックコンサート（実施済み）

- (1) 時期：3月10日及び11日 ヨハネスブルグ・ヴィッツ大学内音楽ホール
- (2) 内容：日・南ア交流100周年を記念し、フィンランド・フィルの首席指揮者である篠崎靖男氏、日本・ロンドンで活躍する国際的ピアニスト小川典子氏がヨハネス・フィルと共演し、武満徹作曲の「リバーラン」、ステイーブンソン作曲の「ヨハネスブルグ序曲」などを含む日・南ア交流100周年記念コンサートを行いました。2日間で約1700名の聴衆を魅了しました。



篠崎指揮者、小川氏、小澤大使夫妻



コンサートの様子

5) 生け花・日本武道デモンストレーション (実施済み)

(1) 時期：4月17日 午前：生け花

午後：武道デモンストレーション

(2) 場所：大使館多目的ホール

(3) 内容：生け花インターナショナル南ア支部の協力を得て、米国から草月流師範理事の資格を持つジェニー・スターリング女史を招き、華道デモンストレーション・講演を実施しました。また、南ア人師範・生徒（3段～7段）による武道（柔道、剣道、空手、居合道、合気道、沖縄琉球古武術、弓道）デモンストレーションを実施しました。



スターリング女史（中央左）、クロフォード・生け花インターナショナル・プレトリア支部元会長（中央）、小澤大使夫妻（右）



生け花デモンストレーションの様子



10点の作品を作成



合気道デモンストレーション
ポール・デビアー5段（右）



南ア人剣士

6) 第19回南アフリカ鯉ショー（実施済み）

- (1) 時期：5月15日、16日
- (2) 場所：ヨハネスブルグ（クレストショッピングセンター）
- (3) 内容：南アフリカ鯉協会が主催する南ア最大の鯉の品評会で、全日本愛鱗会公認審査委員である林豊広が首席審査員として参加。約600匹の鯉が南アフリカ各地から集まりました。表彰式後には大使館員・館員夫人により茶道デモンストレーションが行われました。



表彰式の様子



7) ダニエル・クロフォード生け花インターナショナル・プレトリア支部元会長に対する叙勲授与式（実施済み）

- (1) 時期：6月5日
- (2) 場所：プレトリア（大使公邸）
- (3) 内容：生け花インターナショナル・プレトリア支部元会長であるダニエル・クロフォード女史に対し、文化交流促進の功績を称え、旭日双光章の授章式を実施しました。クロフォード女史は、1973年に生け花インターナショナル・プレトリア支部を創設したメンバーの一人。日本文化に造詣が深く、本年9月には日・南ア交流年事業の一環としてプレトリア国立劇場にて生け花展を開催しました。



小澤大使夫妻とクロフォード女史



ご家族・ご親戚と

8) 桜（苗木）の植樹式（実施済み）

- (1) 時期：6月24日
- (2) 場所：ヨハネスブルグ・ボタニカル・ガーデン及びヨハネスブルグ日本人学校
- (3) 内容：サッカー・ワールドカップ期間中に当地を御訪問された高円宮妃殿下が、日・南ア交流100周年を記念し、ヨハネスブルグ市長とともにヨハネスブルグ・ボタニカル・ガーデンにおいて日本の国花の一つである桜（苗木）の植樹を行いました。妃殿下は、ヨハネスブルグ日本人学校においても桜を植樹されました。9月下旬、南アフリカでは春を迎え、その桜が芽吹きはじめています。



ヨハネスブルグ植物園



ヨハネスブルグ日本人学校



芽吹きはじめる桜（9月下旬）

9) グラハムズタウン・ナショナル・アーツ・フェスティバルにおける「アガシオ」、「ミュージック&リズム」公演（実施済み）※国際交流基金主催事業

- (1) 時期：7月1日～3日（グラハムスタウン（南ア南部の大学都市））
- (2) 内容：南ア最大の国際芸術祭であるナショナル・アーツフェスティバルに津軽三味線とピアノからなるデュオ「AGA-SHIO」、和太鼓・竹楽器からなる音楽グループ「ミュージック&リズム」が参加。36年の歴史を有する同芸術祭に日本のパフォーマーが参加するのは今回が初めて。野外及び室内公演をあわせ3日間の公演を実施するとともに、ソエトの孤児院を訪問し、ワークショップを実施しました。



公演初日（和太鼓野外公演）



公演2日目（和太鼓室内公演）



公演3日目（アガシオ公演）



現地孤児院でのワークショップ

10) 第31回ダーバン国際映画祭（実施済み） ※国際交流基金助成事業

- (1) 時期：7月22日～8月1日
- (2) 場所：ダーバン市内の各映画館
- (3) 内容：南ア最大の映画祭であるダーバン国際映画祭において国際交流基金の助成を得て「ランニング・オン・エンプティ（佐向大監督）」、「Lost Paradise in Tokyo（白石和也監督）」等の日本映画を上映。同映画祭には、ジャパン・イメージ・カウンシルの相原裕美氏も審査員として参加しました。

<http://www.cca.ukzn.ac.za/Durban International Film Festival.htm>

1 1) 渡辺貞夫コンサート (スタンダードバンク・ジョイ・オブ・ジャズ・フェスティバル) (実施済み)

- (1) 時期：8月27日、28日
- (2) 場所：ヨハネスブルグ
- (3) 内容：日本を代表するジャズプレイヤー渡辺貞夫氏が、スタンダードバンク主催のジョイ・オブ・ジャズ・フェスティバルに参加。同フェスティバルはヨハネスブルグ・ニュータウンの特設会場で開催され、国内外の著名なジャズ奏者も参加しました。



1 2) プレトリア国立劇場キャピタル・アーツ・フェスティバルでの和太鼓・阿波踊り公演、生け花展示会、長田雅子氏による絵画展 (実施済み)

※国際交流基金助成事業

- (1) 時期：9月3日、4日
- (2) 場所：プレトリア国立劇場
- (3) 内容：国立劇場主催の第3回キャピタル・アーツ・フェスティバルにて日本太鼓連盟・響座、高円寺菊水連による和太鼓・阿波踊り公演を実施しました。阿波踊り公演には現地在留邦人も参加。また、生け花インターナショナル・プレトリア支部のダニエル・クロフォード女史等による「生け花～春の展示会」、ヨハネスブルグ在住の長田雅子氏による絵画展「East meets Africa Art Exhibition」も平行して開催しました。日本の公演団が同フェスティバルに出演するのは今回が初めて。野外・室内公演及び展示会をあわせ千名以上の観客を魅了しました。

国立劇場での公演終了後、響座はボツワナ及びポルトガルでも公演を行い、菊水連は南アフリカのセント・フランシス・ケアセンター (H I V / A I D S 患者ケアセンター) やオランダ孤児院にて公演及び交流事業を実施しました。



橘太鼓「響座」



公演前のレセプションにてロイヤルバフォケン王弟殿下夫妻と塩見日本太鼓連盟理事長



菊水連によるオランダ孤児院での公演



East meets Africa
Art Exhibiton



生け花展

13) 生け花インターナショナル・ヨハネスブルグ支部主催による生け花展（実施済み）

- (1) 時期：10月2日（土）及び10月3日（日）
- (2) 場所：The Floreum in Johannesburg Botanic Garden,
Olifants Road Entrance, Emmarentia, Johannesburg
- (3) 内容：ヨハネスブルグ植物園において、生け花インターナショナル・ヨハネスブルグ支部会長ビクター・リード氏及び会員による生け花展が開催されました。「Contemporary Ikebana」をテーマに、会場には一葉式、草月流などの美しい作品約30点が展示されました。生け花インターナショナル・ヨハネスブルグ支部は上記会場にて定期的に稽古を行っています（連絡先 Mr. Derry Ralph: 011-788-6104/082-435-7126）



ラルフ氏、小澤大使夫人及びリード会長

14) 活人剣会（居合道愛好団体）による居合道セミナー（実施済み）

(1) 時期：10月9日（土）14：30～21：00

10月11日（月）～13日（水）15：00～21：00

(2) 場所：Primary School Riviera, Rose Street, Pretoria

(3) 内容：南ア居合道愛好団体（活人剣会、Philip de Bruyn 会長）が、日本から富田嘉孝先生（八段・元在ギニア日本大使）を招き、居合道デモンストレーション及び講習会を実施しました。

講習会には有段者を含む南アフリカ人居合道家が集まり、4日間にわたり集中的に富田先生より指導を受けました。

活人剣会はプレトリアにて毎週火曜日及び木曜日（19:30～21:00）に稽古を行っています。（連絡先：Philip de Bruyn 082-375-5383）。

活人剣会ホームページ www.iaido.za.org



富田嘉孝先生（八段）



南アフリカ人居合道家



Mr. Rodney Sloan (Front)
Mr. Hentie Webb (Back)



Mr. Philip de Bruyn



Mr. Maarten van Bommel.

15) 生け花インターナショナル・プレトリア支部主催による生け花展（実施済み）

- (1) 日時：10月14日（木）10：00～16：30 ※10:30より開会式
10月15日（金）10：00～16：30
10月16日（土）10：00～13：00
- (2) 場所：Monument Park Dutch Reformed Church Hall,
cnr Eland & Okapi Streets., Monument Park, Pretoria
- (3) 内容：「Ikebana Exhibition of Christmas, New year & Special Occasion Arrangement」と題し、生け花インターナショナル・プレトリア支部会員による生け花展が開催されました。本年の外国人叙勲で旭日双光章を授章したダニエル・クロフォード女史の作品をはじめ約30点の生け花が展示されました。
- (4) 連絡先：生け花インターナショナル・プレトリア支部
Hantie：012-347-7678
Marie：012-346-2527



16) オッペンハイマー家（デビアス社会長）日本庭園での茶道セレモニー（実施済み）

(1) 時期：10月15日

(2) 内容：日・南ア交流100周年及び日本庭園完成5周年を記念し、オッペンハイマー家庭園において茶道セレモニーを実施しました。

オッペンハイマー家の日本庭園は世界的に著名な京都の庭師・北山安夫氏が手がけ、2005年10月15日完成。茶道セレモニーには、財界・政府関係者、文化関係者、マスメディア等を招待し、在南アフリカ日本人会茶道部会員及び大使館員夫人が点前を行いました。



オッペンハイマー夫妻



日本人会茶道部による点前



野点・立礼式での点前



お茶の作法についてデモンストレーション



オッペンハイマー氏によるスピーチ



小澤大使によるスピーチ

17) 南アフリカ剣道連盟主催による剣道セミナー（実施済み）

(1) 日時：10月16日（土）09：00～17：00
10月17日（日）09：00～17：00

(2) 場所：ヨハネスブルグ日本人学校体育館

(3) 内容：南アフリカ剣道連盟（会長：バスター・セフォー氏）が、剣道範士八段・網代忠宏先生（全日本剣道連盟常任理事、東海大学教授）、剣道教士八段・入井徳明先生及び石丸先生（七段）を日本から招き、剣道講習会及び昇段審査を実施しました。

網代八段は、剣道世界選手権優勝者2名及び日本選手権優勝者4名を育てた著名な剣道家。今回のセミナーには南アフリカ全土から約50名の南アフリカ人剣士が参加しました。

南アフリカ剣道連盟は定期的にヨハネスブルグ、プレトリア等において稽古を行っています（連絡先：南アフリカ剣道連盟 Mr. Buster Sefor : 011-887-3016）



左から入井先生（教士八段）、トニー先生（五段）、
網代先生（範士八段）、セフォー会長（六段）、
石丸先生（七段）



熱心に指導する網代八段



南アフリカ全土から南ア人剣士が集結



稽古及び昇段審査を実施

18) 日本研究センター設立記念シンポジウム (実施済み)

- (1) 時期：10月26日
- (2) 場所：Gordon Institute of Business Science (GIBS) (ヨハネスブルグ)
- (3) 内容：プレトリア大学、当地日本商工会議所等の協力の下、プレトリア大学のビジネススクール (GIBS) に日本研究センターを設置するとともに、記念シンポジウムを開催しました。シンポジウムには、エブラヒム・エブラヒム南ア国際関係・協力省副大臣、北岡伸一東京大学教授、平野克己ジェトロ・アジア経済研究所地域研究センター長、小澤俊郎大使、マイケル・スパイサー・ビジネス・リーダーシップ・サウスアフリカCEO、ピーター・ファブリシャス・インデペンデント・ニューズペーパーズ編集人、ベン・ヌグバネSABC (当地国営テレビ局) 会長・元駐日大使、スカーレット・コーネリセン・ステレンボッシュ大学准教授等がパネリストとして参加し、ビジネス・政府関係者など多くの出席者を得て開催されました。また、日本研究センターに対し、国際交流基金及び日本財団より日本関連書籍・DVDが寄贈されました。

日・南ア交流100周年においては様々な交流事業が企画されていますが、後生に残る「レガシー・プロジェクト」の一つが日本研究センター設置計画です。南アフリカには、これまで拠点となる日本研究の機関が存在しない状況が続いていました。日本研究センターの設立は、両国民間の理解を深めるための知的拠点となり、長期にわたり両国関係の幅と奥行きを広げるための役割を果たすことが期待されます。



エブラヒム国際関係・協力省副大臣



北岡東京大学教授



質問に答える平野ジェトロ・アジア
経済研究所地域研究センター長



ファブリシャス編集人



小澤大使



活発に質問する出席者



質問に答えるヌグバネSABC会長



シンポジウムの様子

19) シブイ盆栽会主催による盆栽展（実施済み）

(1) 日時：10月30日（土）10：30～17：00
10月31日（日）10：00～17：00

(2) 場所：The Floreum、Johannesburg Botanic Garden,
Olifants Road Entrance, Emmarentia, Johannesburg

(3) 内容：シブイ盆栽会（会長：デリー・ラルフ氏）が、日・南ア交流100周年を記念し、盆栽展を開催しました。南アフリカでは高齢者の趣味というより「アート」的な要素が強い盆栽。若者から二十数年の盆栽歴を有する者まで約50名の会員による盆栽が展示されました。会長の Derry Ralph 氏は、訪日歴20回を超える親日派で、10月にはダイヤモンドのデビアス社会長宅の庭園（ヨハネスブルグ）に盆栽展示場を開設。

シブイ盆栽会は、上記会場にて毎月第3土曜日午後2時から練習会を行っています（連絡先：シブイ盆栽会 Mr. Derry Ralph、011-788-6104/082-435-7126）



坂本公使によるテープカット



盆栽展の様子



展示の一例



アルメロ会員、坂本公使、ラルフ会長

20) 第17回日本映画祭 ※国際交流基金主催事業

- (1) 時期：11月6日～7日 プレトリア・ブルックリンモール
11月13日～14日 ケープタウン・V&Aモール
11月20日～21日 ヨハネスブルグ・ローズバンクモール
劇場は各モール内の映画館「シネマヌーボー」。
- (2) 作品：サイドカーに犬(2007年、94分、ドラマ、竹内結子主演)
かもめ食堂(2006年、102分、ドラマ・コメディ、小林聡美主演)
時をかける少女(2006年、100分、アニメ、細田守監督)
半落ち(2004年、125分、ミステリー・ヒューマン・ドラマ、寺尾聡主演)
金融破滅ニッポン桃源郷の人々(2002年、94分、コメディ、哀川翔主演)
- (3) 上映時刻(3都市とも共通)
- | | | |
|-----|--------|----------|
| 土曜日 | 14:15～ | 金融破滅ニッポン |
| | 17:30～ | 時をかける少女 |
| | 20:15～ | かもめ食堂 |
| 日曜日 | 14:15～ | サイドカーに犬 |
| | 17:30～ | 半落ち |
- (4) 入場料：無料
無料チケットは各映画上映1時間前から映画館受付にて入手可能です。
上映作品は、日本語音声・英語字幕です。
- (5) パンフレット(英文)
こちらからダウンロードできます。
http://www.za.emb-japan.go.jp/en/downloads/filmFestival_2010.pdf

21) 南アフリカ合気道連盟による合気道セミナー

- (1) 日時：11月25日～28日 ヨハネスブルグ(Wits University)
12月2日～5日 ケープタウン(University of Cape Town)
- (2) 内容：南アフリカ合気道連盟が、日本及びグアムから2名の日本人高段者(七段)を招き、合気道講習会を実施します。見学等をご希望の方は以下の連絡先までご連絡ください。
- (3) 連絡先：南アフリカ合気道連盟 Mr. Cornelius Human
011-744-0009/082-563-6322

4. 日・南ア交流100周年ロゴマーク



5. 各イベント、ロゴマークの使用等に関するお問い合わせ先

在南アフリカ日本大使館広報文化班 外川（とがわ）

電 話：012-452-1500（代表）

F A X：012-460-3880

Eメール：hiroyuki.togawa@mofa.go.jp

ホームページ：http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html